



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

# 介護福祉経営士 ニュース KFK News

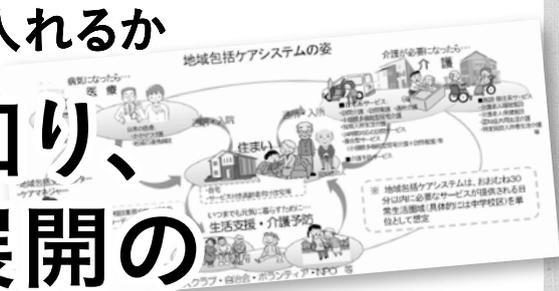
2022  
**5.31**  
No.95



特集

今後の介護経営に介護・医療連携の  
視点をどう取り入れるか

## 医療制度を知り、 新たな事業展開の チャンスをつかむ



### CONTENTS

特集 今後の介護経営に  
介護・医療連携の視点を  
どう取り入れるか

医療制度を知り、新たな事業  
展開のチャンスをつかむ

- 介護福祉経営士セミナー  
開催のご案内
- 「登録アドバイザー」  
制度のご案内
- 介護福祉経営士  
WEB説明会のご案内

● 合格者の声

● 第6回「介護福祉のみらい」  
作文コンクール  
入選作品掲載

● 第7回「介護福祉のみらい」  
作文コンクール  
開催のご案内

● 今月の「介護ビジョン」

● イベント紹介

● 電子版移行のお知らせ

一般社団法人  
日本介護福祉経営人材  
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局  
☎ 03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>

〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号  
S-GATE八丁堀9階

制作：株式会社日本医療企画

# 医療制度を知り、 新たな事業展開のチャンスをつかむ

高齢化の進展に伴い、医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ重度の要介護者や、認知症高齢者が増加しつつある中、介護・医療の連携の必要性はこれまで以上に高まってきている。本特集では介護事業者は今後どのような視点で介護・医療の連携に向き合っていくべきなのか、数多くの医療・福祉・介護事業のコンサルティングを手掛ける青木正人氏(株式会社ウエルビー代表取締役、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事)に話を伺った。

## 医療制度理解のきっかけは メリットとなる“つながり”を見つけること

「地域包括ケアシステム」にとって団塊の世代が75歳以上となる2025年は大きな節目となるタイミングである。しかし現状ではその2025年を目前としながらも、まだまだ多くの課題が残されている。

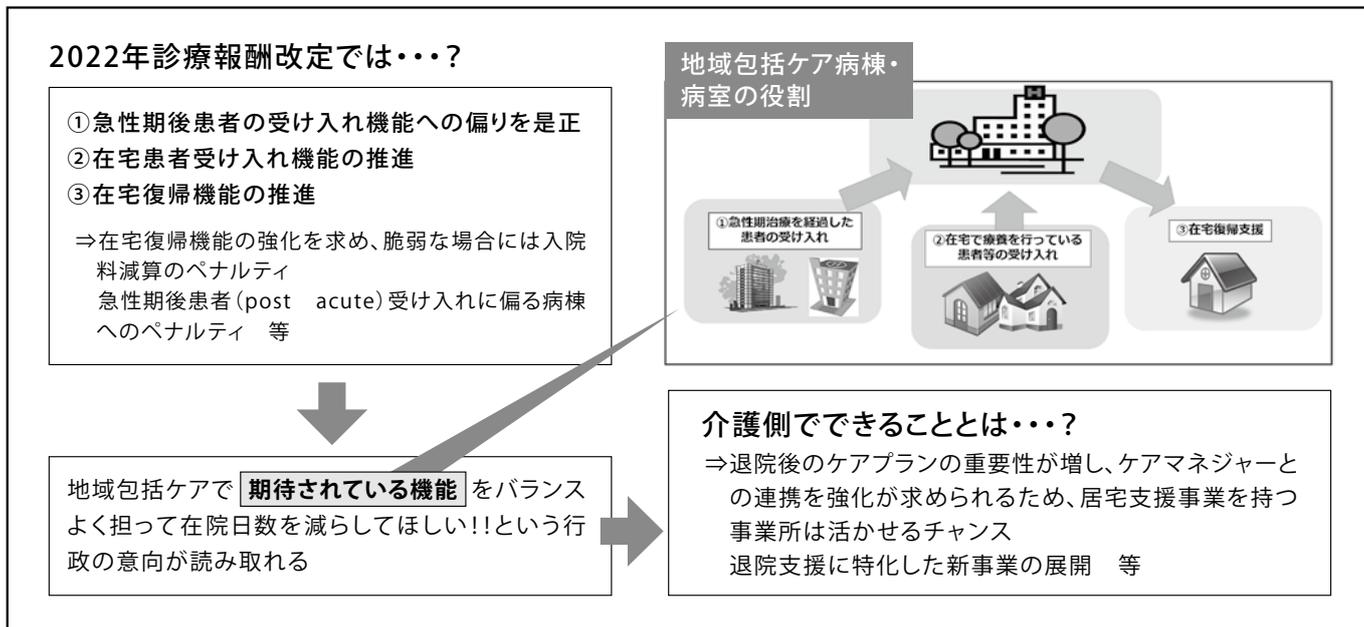
その大きな課題の一つが介護・医療の連携体制の構築である。近年では介護と関係性の深い在宅医療との連携等に関するケーススタディなども増加しており、令和2年に改訂された「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」の中でも紹介されている。

しかし実際には医療現場と介護現場の間には越える

べき壁がいくつも残っているのが現状だ。そもそも連携の成功事例を参考にしようとしても地域における高齢化率の違いや社会資源などに差があり、結局はそれぞれの地域の特性を理解した連携方法を模索する必要がある。それに加えて、模索のための前提となる介護・医療双方の相互理解がスムーズに進んでいないことも大きな課題となっている。

青木氏はこうした現状について次のように語る。「介護・医療の相互理解についてはそれぞれの制度が複雑であるがために、自分の領域について理解することのみに多くのリソースが割かれているのが現状です。特に介護領域では人手不足も相まって医療の領域までカバーするのは困難でしょう」

## 図●介護事業に活かせる医療側のニーズ(例:地域包括ケア病棟)



確かに介護現場における人材不足は深刻な状態にある。こうした現状では忙しい日々の業務の合間に医療に関する理解を深めるといっても難しい話だ。

この点について青木氏は「まずは介護事業者(自分たち)にとってメリットになるポイントはどこか?を見つけていくことから歩み寄り始めるべき」と断言。こうしたポイントの一つとして青木氏は今回の診療報酬改定における「地域包括ケア病棟」の取りあつかいを例に挙げる。

2022年の改定では地域医療構想の実現に向けた病棟ごとの機能分化が強く打ち出された。こうした流れの影響を強く受けたのが、地域包括ケア病棟である。地域包括ケア病棟の役割は大きく分けて3つ、(1)軽度急性期(サブアキュート)、(2)急性期後の受け入れ(ポストアキュート)、(3)在宅復帰支援——となる。今回の改正では、①急性期後患者の受け入れ機能への偏りを是正、②在宅患者受け入れ機能の推進、③在宅復帰機能の推進などを目的に自院内転棟の制限や、自宅等からの入院割合等実績要件の厳格化など、ポストアキュートの抑制と軽度急性期の受け入れが強化された。

「厚生労働省が考えているのは地域包括ケア病棟の担うべき3つの役割をバランスよく担っているところを評価する流れを作ることです。そしてそれによって在院日数を減らしたいという意向があるわけです。そうすると、医療機関は入院した時から退院後の介護サービスについてこれまで以上にしっかりとプランニングしていく必要が出てきます。この時に重要な役割を担うのがケアマネジャーです。居宅介護支援事業所を持つ介護事業所にとってここにチャンスが生まれる。加えて、こうした情報を事前に集め、退院支援に特化したサービスを提供する体制づくりができれば、他事業所から一步リードした事業展開ができますし、実際に退院支援に特化したデイサービスなどを開始している事業所は存在しています」と語る青木氏。医療側の意向を理解している事業所ということを経営側側面に認識してもらうことで、選ばれる事業所としての立場を確立できる点は介護事業所としての大きなメリットなる。

## 医療制度の変化から、 介護制度の今後の変化を予測する

また、青木氏は介護事業者が医療制度に関する知識を取得することのもう一つのメリットとして、介護制度の将来予想の手がかりが得られることを挙げる。ここで青木氏が例に挙げるのは今回の診療報酬改定で改定された「診療

録管理体制加算」だ。

今回の改定では、専任の医療情報システム安全管理者の配置や定期的に必要な情報セキュリティ研修を実施すること、システムのバックアップ体制の構築(努力義務)が盛り込まれた。この背景には医療機関へのサイバー攻撃が相次いでいる背景がある。

青木氏は「こうした情報セキュリティに関する課題は介護施設においても同様であり、医療側でこのような改定が行われたということは介護側でも同様の改定が行われる可能性が極めて高いことが予想できます。今のうちから自法人内の情報セキュリティの状況を再確認し、対策していくための組織づくりをすることや、システム上の安全管理の責任者となれるような人材の目星をつけておくといった準備を進めていくことも有効でしょう。」と語る。また、今回青木氏が挙げた事例は医療側から介護側の将来予想が行えるケースであったが、介護側から医療側の将来予想が行えるケースも少なくないという。

「介護事業者の皆さんには医療制度の中に自分たちの事業(介護事業)に活かせる要素がたくさん眠っていることをぜひ知っていただきたいと思います。2024年の介護報酬・診療報酬のダブル改定で今以上に介護と医療の関係性が強化されることを考えれば、医療制度や診療報酬について知識を持っている事業所とそうでない事業所に差が出ることは明白です。今のうちから医療制度のどのポイントが介護事業のメリットにつながるのか、そのポイントを活かすためには次に何をすればいいのかを考えるための分析力を磨いていただきたい。」と青木氏は語る。

### Profile

青木 正人氏

株式会社ウエルビー代表取締役  
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事

1955年富山県生まれ。1978年神戸大学経営学部経営学科卒業。大手出版社の書籍編集者を経て、出版社・予備校・学習塾を経営、その後介護福祉士養成校・特別養護老人ホームを設立・運営する。自治体公募の高齢者・障害者・保育の公設民営複合福祉施設設立のコンペティションに応募し当選。2000年有限会社ウエルビー(2002年に株式会社に改組)を設立し、代表取締役に就任。明治大学社会サービス創新研究所客員研究員。所属学会は、日本介護経営学会、現代経営学研究所。厚生労働省介護保険指導監督等研修講師、東京都福祉サービス第三者評価者研修講師並びに評価者 他

## 介護福祉経営士セミナー開催のご案内

# ライバルに差をつける 介護事業者に必要な診療報酬と医療の知識

高齢化の進展に伴い、医療的なニーズと介護的なニーズを併せ持つ重度の要介護者や、認知症高齢者が増加しつつある中、医療及び介護の連携の必要性はこれまで以上に高まってきています。

本セミナーでは介護側からのアプローチに視点をしぼり、介護との関連性の高い医療制度のポイントや介護事業者が最低限知っておくべき診療報酬の仕組みなどについて解説を行います。

第1回 終了しました

第2回 6月24日(金) 14:00~15:00

第3回 7月28日(木) 14:00~15:00

■開催方法: オンライン(Webライブ中継)による開催

■参加費: 会員=無料/一般=2,000円(税込)

※会員とは介護福祉経営士、医療経営士、  
栄養経営士の正会員(申請中も含む)をさします。

※全3回を予定。1回から受講可



[講師]  
青木正人氏

(株式会社ウエルビー代表取締役、  
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事)

協会ホームページよりお申し込みください。

<http://www.nkfk.jp/seminor.html>



## 「登録アドバイザー」制度のご案内

株式会社日本医療企画

株式会社日本医療企画が運営するヘルスケアマネジメントの情報サイト「ヘルスケア・マネジメント.com」にて「登録アドバイザー」制度を開始しました。医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士の皆様にサイト上で「登録アドバイザー」にご登録いただくと、福祉施設・企業等がその情報を自由に閲覧・検索できるシステムです。経営士の方であればどなたでも無料で登録が可能となっております。

困りごとを抱える福祉施設・企業等と今大活躍中の経営士とをつなぐ場となっておりますので、皆様の活動の場を広げるきっかけとしてぜひご活用ください。

 **ヘルスケア・マネジメント.com**

<https://healthcare-mgt.com/adviser-list/about-adviser/>

■お問い合わせ: ヘルスケア・マネジメント.com事務局 (株式会社日本医療企画内 Tel: 03-3553-2863)



▲詳細・登録はこちら



## 介護福祉経営士 WEB説明会のご案内

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会では、「介護福祉経営士」資格や認定試験に関するWEB上での説明会を行っています。

これまで、当協会では介護福祉経営士の受験を検討する法人などを直接訪問し「出前説明会」を開催してきましたが、今後はWEBも活用しながら介護福祉経営士の普及に努めてまいります。

「介護福祉経営士」について、資格取得のメリットや勉強方法などさまざまな情報を距離・場所の制約なく入手していただける機会となりますので、ぜひご活用ください。

お申し込みは当協会ホームページ (<http://www.nkfk.jp/demae.html>) より承っております。



## 地域ニーズの実現に資格を活かしていきたい

高下 浩之 ●たかした・ひろゆき

社会医療法人誠光会 法人本部 本部長  
介護福祉経営士2級



私の所属する社会医療法人誠光会では医療と介護、検診教育の各部門それぞれが独立した事業を営みつつ、地域医療と福祉へ貢献するために連携を行っています。法人本部に所属する私には法人全体の機能が十全に力を発揮できるよう、法人の方針に従って円滑かつ発展的に法人経営を支援することが求められており、いわば、司令塔としての役割を担っています。業務の範疇も幅広く、外部への対応から内部の調整に至るまでさまざまな対応を行っています。

もともとは医療業界に25年ほどかかわってききましたが、直接的に介護経営にかかわるようになったのは3年ほど前からです。グループに所属する法人の一つ、社会福祉法人誠光福祉会の経営改善と特別養護老人ホームの運営を軌道に乗せることを目的として、出向という形で法人の副理事を務めたことがきっかけです。

当時は介護経営の厳しさを身に染みて感じ、特に人材確保の部分で非常に苦労しました。そうした課題を何とか解決できないか模索している途中で出会ったのが介護福祉経営士でした。介護の世界についてより深く学びたいという思いが強まっていたこともあり、自分のキャリアアップもかねて取得を決めました。

介護報酬や制度の仕組みといった部分については、グループ内に介護医療院や訪問介護サービス、老健施設などもあるため、ある程度知識は持っていました。

た。しかし、現場に入ったことがなかったため、実務的な部分の疑問については、ケアマネジャーや専門職のスタッフにヒアリングをおこなったりしながら勉強を進めました。そうして勉強した部分が実際に試験にも出題されていたので、協力してくれたスタッフの皆さんにはとても感謝しています。

当法人の所在地である滋賀県草津市は近年比較的人口が増加している地域です。大阪や京都からの移住者も多く、若い世代も多いため、高齢化率も他の地域と比べ10年ほど進行が遅い状況にあります。そのおかげで、地域福祉の行く末について考える時間が他と比べてわずかですが残されています。

私はその時間が残されているうちに、誠光会の中だけで完結している福祉への取り組みを地域全体に広げていきたいと考えています。将来的にはマーケティングなどを通して地域のニーズを分析し、地域で必要とされている施設の立ち上げ・運営の他、行政や企業とのタイアップなどにもかかわっていきたくて考えており、介護福祉経営士の資格はそうした場面で生きてくるのではないかと思います。

私も年齢的にこれから先なにをしたいのかを考える時期に入ってきています、超高齢化社会を迎える前に自分にできることを考えながら地域福祉へ貢献していきたいと思っています。

## 介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

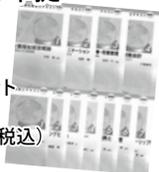
いまなら

「介護福祉経営士2級資格認定試験対策 — 合格サポートブック —」がもらえる!!

介護福祉経営士テキストのご案内

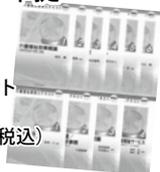
介護福祉経営士  
1級試験 準拠

実践編  
全11巻セット  
特別価格:  
26,190円(税込)



介護福祉経営士  
2級試験 準拠

基礎編  
全10巻セット  
特別価格:  
24,100円(税込)



「合格サポートブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
  - 予想問題を掲載
  - 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。
- ※解説は(株)日本医療企画によるものです。

※株式会社日本医療企画へ直接お申し込みされた場合の価格となります。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ  
▶<http://www.jmp.co.jp/>



## 第6回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入選作品掲載

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生に、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会をもってもらうことを目的として、第6回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施しました。全国より応募総数621編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（日本生活支援学会会長／浦和大学名誉教授）のもと、厳正な審査を行いました。以下に入選作品を掲載いたします。

### 佳作

## 「介護や福祉に関する実体験を通して 感じたこと、考えたこと」

おおじ ゆうき  
大司 悠貴さん

(大分県立佐伯豊南高等学校 福祉科2年)

僕が介護実習で経験したことは二つあります。

一つ目は、一つ一つ声かけを行うことです。実習に行かせてもらうまでは、何故しないといけないのか、また、一つ一つ声かけをすると利用者さんがイライラしてしまうかなと思っていました。でも、実習に行かせていただき、その考え方は間違っていることが分かりました。利用者さんと屋外を散歩している時に、段差や階段がありました。段差の前までくると利用者さんは左足から出すか右足から出すか迷っていました。利用者さんは左足麻痺なので、僕が「前に杖をついてください」「次に右側の足を出しましょう」と声かけをすると利用者さんは素敵な笑顔でありがとうございますと言ってくれました。利用者さんに感謝されて嬉しかった僕は、これを機に「その段差危ないですよ」「少し暑いので休憩をしましょう」と利用者さんの周りの環境に気づき、僕が伝えることで利用者さんも注意を払うことができることが分かりました。

二つ目は、認知症の利用者さんとコミュニケーションをとったことです。認知症の方とコミュニケーションをとることは初めてで、最初は戸惑いがありました。ですが、日が経つごとに認知症の利用者さんとコミュニケー

ションをとることができるようになりました。

僕は認知症の利用者さんに三十分～一時間くらい間を空けて話しかけることにしました。しかし、認知症の利用者さんからは「初めまして。君はどこから来たの」と話しかけると毎回言われました。だけど僕は名前でも顔でも声でもいいので覚えて欲しくて、コミュニケーションをとっていました。実習が始まって4日目の日に僕は「認知症の症状が原因じゃない。自分のコミュニケーションのとりかたが悪いんだ」と気づきました。僕は話しかけるのは、朝は何を食べたのか、好きな食べ物は何かだけ聞いてばかりでした。それだけではいけないと思って、利用者さんの幼い頃の話や、戦争の話、昔に流行った遊びなどを聞くことにしました。それを続けているとあっという間に時間が過ぎていきました。話が終わるとその利用者さんは笑顔であったり、楽しかった思い出で泣いていたり昨日までとは違う利用者さんを見ることができました。時間が過ぎるのは早くて、最終日の昼にその利用者さんに話しかけました。すると、利用者さんから「顔は分かるけど名前が分からない」と言われて、僕はかなり嬉しかったです。諦めないでよかったなと思います。

### 受賞者コメント

この度は入賞することができ、光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。

私はまだまだ未熟ですので、友達や家族、これから出会う方々にも支えてもらいながら、福祉の勉強に励んでいきたいです。

大司 悠貴さん



### 審査委員長のコメント

付き添うこと、コミュニケーションについて、きれいにまとめている良い作品だと思います。

ぜひ応募ください!

## 第7回

# 「介護福祉のみらい」作文コンクール

一人ひとりの思いが、介護福祉の新たな未来を創ります。  
これからの社会を担うみなさんの声を届けてください。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生に介護や福祉の大切さを知り、未来について考える機会をもってもらうことを目的に、第7回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施する。

昨年は、621編の作品が集まり、黒澤貞夫審査委員長(日本生活支援学会会長/浦和大学名誉教授)のもと厳正な審査が行われた。受賞者には、それぞれ賞状が贈呈された。

入選作品は日本介護福祉経営人材教育協会ホームページ上で発表される。

ホームページにて応募方法や注意事項をよくご確認のうえ、ご応募ください。



私たちだから  
伝えられることがある



© Paylessimages - stock.adobe.com

趣 旨	将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とします。
募集期間	2022年6月1日～9月12日 ※郵送の場合は必着
対 象	中学生、高校生の方
テ ー マ	以下のテーマ(課題)の中から好きなものを一つ選んで、あなたが感じることを、考えることを自由に書いてください。 ● 介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと ● 自分の老後を想像して考えたこと ● これからの介護や福祉に関する私の意見



詳しい募集内容は一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会のホームページにてご案内します。

## 地域介護経営

Care Vision

地域のニーズをすくい上げ  
地域から超高齢社会を支えていくための  
視点を具体的事例とともに掲載

# 介護ビジョン

今月の

## 第1特集

### 選ばれる時代を勝ち残る 介護事業者のブランド戦略

大手介護事業者がM&Aや新卒者の大量採用などで拡大戦略を採り、またインターネットの普及にともない顧客がサービスを主体的に選ぶ時代に入っている。介護事業者にとって、こうした時代の変化に対応していくには、自分たちのサービスの特徴や強み、ターゲットなどを明確にして、ブランド力を高めていくことが求められる。本特集では、介護事業者としてブランド構築に向けて何ができるか、何をすべきかを探る。

**Introduction** 顧客に知ってもらい、愛され続けてもらうために

**Special Interview** 他業界に学ぶブランド展開

池上 真敬氏(星野リゾート 界伊東 総支配人)

**case1** 後期高齢者をターゲットに機能訓練に特化したブランドを構築  
株式会社INSEAC

**case2** 理念やスローガンを一新「生きがい」を軸に多様な事業展開  
社会福祉法人一燈会

**case3** 「最期まで自分らしく家で生きる」を支援  
ノウハウの普及にも積極的に取り組む  
株式会社楓の風

**解説** これからは介護事業者もブランドを考え、育てる時代  
藤原彰人氏(株式会社アイディーエイ 大阪支社 デザインコンサルティング部)

## 第2特集

### 課題を解決する 介護ICT機器導入術

## 注目企画

### Challenge in adversity ~逆境下の挑戦 進化を続けるつしま医療福祉グループ人材育成のゆくえを追う

2022年6月号  
(2022年  
5月20日発売)



詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,320円(税込)
- 定期購読料: 15,840円(税込)
- ※会員価格は12,672円(税込)

【購入に関するお問い合わせ】  
株式会社日本医療企画 Tel: 03-3553-2891

### 関西支部

#### 開業医から見た 地域包括ケアシステムの現状と課題 円滑な地域連携、病診・診診連携を考える

大阪市旭区で1日120人以上の患者を診察するたにぐちクリニックの谷口一則院長は、病院や診療所、高齢者施設等との地域連携に注力する開業医。そんな開業医から見た在宅医療・介護の現状と課題を、事例を交えながら伺う。

- 日時: 2022年7月3日(日) 14:00~16:00
- 講師: 谷口一則氏(たにぐちクリニック院長)
- 開催方法: 会場およびオンライン(Zoom)
- 会場: 本町第2ビル2F セミナールーム(大阪府大阪市中央区本町2-2-5)
- 定員: 会場10名(先着順)、オンライン50名
- 受講料: 会員 2,000円、一般 3,500円  
※会場・オンラインとも  
※税込

▼お申し込みはこちら



お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社  
TEL:06-7660-1761

### 日本医療企画

#### 医療・介護経営セミナー2022 2022年診療報酬改定から読み解く これからの医療・介護経営戦略とは

講演1 2022年診療報酬改定の対応策と経営戦略

講師: 湯原淳平氏  
(株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンシニアマネジャー)

講演2 医療との連携におけるこれからの住宅型サービスのあり方

講師: 土井勝幸氏  
(医療法人社団東北福祉会 介護老人保健施設せんだんの丘 施設長)

- 日時: 2022年6月18日(土) 13:00~
- 開催方法: 会場 & オンライン配信
- 会場: ハーネル仙台 4F青葉(宮城県仙台市青葉区本町2-12-7)
- 定員: 会場30名、オンライン配信100名  
(仙台会場の様子をWEB(zoom)によりリアルタイムで配信)
- 参加費: 無料
- 共催: 東北ミサワホーム株式会社、株式会社日本医療企画

▼お申し込みはこちら



お問い合わせ 株式会社日本医療企画 東北支社  
TEL:022-281-8536

### 株式会社日本医療企画

#### “イチ”からわかる介護経営オンライン塾

- 【第1回】2022年4月16日(土) ※アーカイブ受講可  
介護経営を取り巻く環境を学ぶ
- 【第2回】2022年5月14日(土) ※アーカイブ受講可  
介護事業の経営分析手法を学ぶ
- 【第3回】2022年6月18日(土)  
介護事業の経営戦略策定を学ぶ
- 【第4回】2022年7月16日(土)  
介護事業の収益増加・費用削減と実行手法を学ぶ
- 【第5回】2022年9月3日(土)  
高齢者向け住宅の未来介護経営を学ぶ

- 時間: 14:00~16:00 ※後日アーカイブ受講可
- 講師: 古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ、介護福祉経営士2級)  
熊田圭佑氏(有限責任監査法人トーマツ、介護福祉経営士2級)
- 開催方法: Zoomにより配信
- 受講料: 各回 2,000円 ※税込
- 協賛: 日本医療経営実践協会 関西支部  
日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部

▼お申し込みはこちら



お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社  
TEL:06-7660-1761

### 日本医療企画

#### 2022年度診療報酬改定 概要から読み解く生き残り戦略

講演 前半

2022年度診療報酬改定を踏まえ、経営環境のトレンドを把握する

講演 後半

病院における「将来のあり方」から逆算で、やるべきことを考える

講師: 古株靖久氏  
(有限責任監査法人トーマツ、介護福祉経営士2級)

- 日時: 2022年6月26日(日) 13:30~15:30
- 開催方法: オンライン(Zoomによるライブ配信)
- 定員: 100名
- 参加費: 無料
- 共催: 大和ハウス工業株式会社

▼お申し込みはこちら



お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社  
医療・介護事業経営セミナー  
TEL:06-7660-1761



## 「介護福祉経営士ニュース」電子版移行のお知らせ(2022年6月号より)

平素は『介護福祉経営士ニュース』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

2022年6月号より、『介護福祉経営士ニュース』は、発行形態を紙媒体から電子媒体へと移行させていただくことになりました。電子化により利便性の向上をはかり、より多くの方に媒体を利用していただくことを目的としております。紙媒体に馴れ親しんでこられた方々にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

今後は会員の皆様へ閲覧用のURLをメールにてお送りさせていただきます。詳細につきましては協会HPおよびメールマガジンなどでお知らせいたします。

今後も時代のニーズに合わせた形で、最新の介護福祉業界に関する情報をお届けいたしますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会